



きょうりゅう そうしよく にくしよく
恐竜の、草食とか肉食がどうしてわかるの

歯でわかる

どうぶつ は どうぶつ どうぶつ なかま はい みわ たいせつ
 動物の歯は、その動物が、どんな動物の仲間に入るかを見分けるのに、とても大切な「か
 ぎ」になるものです。それぞれの動物の種類によって、特長がはっきりしているからです。

また、その動物が、おもに、どんな物を食べているかによって、歯の形がはっきりちが
 ってきます。今、生きている草食動物のゾウやウシ、ウマの歯の特長を見てみましょう。

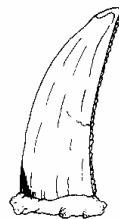
草食動物は、草や葉を切ったり、むしりとったりしたあと、かたい植物の葉をすりつぶ
 してのみこみます。そのため、切り取るのに便利な、大工道具ののみのような形をした
 歯と、すりつぶすのに便利な、てっぺんが大きくてはばが広い、うすのような形をした歯
 が多いことがわかります。人間の歯でいえば、おく歯とよばれる大きい歯が、このうす型の
 歯にあたります。

いと き ば にくしよくどうぶつ は
糸切り歯は、肉食動物の歯

にくしよくどうぶつ は は さき かたち
 肉食動物の歯は、ネコやトラの歯のように、するどく先がとがった、ナイフのような形
 をしています。肉や骨をかみくだくために、こんな歯をもっているのです。人間の歯でい
 えば、糸切り歯とか、犬歯とよばれる歯が、ナイフのような形に近いものです。

きょうりゅう にくしよく
 恐竜も、肉食ならナイフのよ
 うな歯、草食ならうすのような歯
 を、それぞれもっていることから、
 見分けることができます。

(監修・今泉 忠明)



肉食恐竜の歯

のみ型



うす型



草食恐竜の歯

